

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスのんびり学園			
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日 ~ 令和7年1月27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日 ~ 令和7年1月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月5日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、子供の状況や課題について共通理解を図れるように努力している。	日ごろの子供たちの健康(心のも含む)状況をよく見ていています。少しおかしいなと感じればすぐに対応し、必要であれば電話連絡や連絡帳で情報の共有を図るように努めています。また、施設での過ごし方等でいつも違うテンションや表情や態度が見られれば保護者へ、送迎時に直接伝達することもあります。	今、工夫していることが継続できるように、しっかり職員同士でも情報共有を図っていきます。（報告・連絡・相談）
2	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じていけるように努力しています。	施設での取り組みが、ご家庭での過ごし方のヒントになるような事例を積極的にお伝えしています。（お子様様が落ち着いて過ごせるように）保護者が養育する上での不安やご相談・ストレス等がないか面談等で知りえた情報を勘案して、保護者が安心して育児ができるように側面からサポートします。	養育上でお困りのご家庭に対して、施設だけの支援では限界があるため、各専門機関への橋渡しがスムースに出来るよう努力していきます。
3	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を行っている。	毎年必ず、保護者・関係機関・一般市民様を開かれた施設のお祭り「のんびりフェスタ」を開催しており、多くの来客の皆さんに親しまれています。	施設の地域開放として継続できるように、毎年工夫を凝らして皆様が楽しめるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の自立支援協議会に積極的に参加している。	日々の業務に追われてしまい、自己完結型の支援になっているのが要因だと思われます。	他機関のアドバイスを受けて支援技術の向上を図るためにも自立支援協議会が主催する研修会・勉強会に参加していく、困難事例など、個別に相談していけるようにしていきます。
2	緊急・防犯・感染症マニュアルを策定し、職員や保護者へ周知できているか。	マニュアルの整備作成はできているものの、その管理や活用といった点において不十分であると思います。それらの原因として、職員や保護者に対しての周知不足があるのではないかと思っています。	保護者への周知に関しては、面談時にご説明するようにしていきます。 職員には、職員会議や研修の機会において、マニュアルの運用について説明し、訓練して行きたいと考えています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもたちと活動する機会がある。	感染症の問題や、当事業所の利用時間と他機関の利用時間があわないなど、物理的な事が原因であると思います。	感染症の問題等ありますが、先方との受け入れ体制を確認して交流できるか検討して参ります。